

「びわ湖環境ビジネスメッセ2018」出展

日 時： 平成30年10月17日(水)～19日(金) 10:00～17:00(最終日16:00)	今年度も協会としての出展は見送り、県(循環社会推進課)受託ブースでの出展となりました。
場 所： 長浜バイオ大学ドーム	

今年度は「第4次滋賀県廃棄物処理計画における3R」に立ち返り、3Rの国と県の取組状況やリサイクルの方向性と、食品ロス対策としてフードエコプロジェクトや食品ロス削減レシピなどのパネルを5枚作成し、併せて昨年の「食品ロス削減」取組パネルも4枚活用して、また3Rクイズパネルも作成し、10枚にて来場者への普及啓発に努めました。

3Rをさらによく理解していただき、ごみの分別を確実にしていただく、そして「食品ロス」のようなりデュースを進める傍ら、リユースやリサイクルも確実に進めていただくために、3Rの基本からわかる説明パネルを掲示し、クイズで誘導し理解を深めていただきました。

「食品ロス」の量は日本全体で646万トンも発生しており、そのうち半分は家庭から発生していますので、食品ロスを無くすために、我々県民が何をしなければならないかをパネルにして、誰にでも見やすく判り易いようにしました。

そして応えてもらった方々には景品と「ごみゼロしが」に関するチラシをお渡ししました。

たくさんの方々に来場してもらい、景品として用意していました(マイボトル推進に因んだ)ペットボトルケースと(ペットボトルから作った)開封後の袋を挟んで閉じるパッケルは3日間で無くなりました。

今年は、3Rが老若男女問わず、かなり浸透しており、ペットボトルの分別は当たり前で、海外に出て行っているものも国内で回さないもったいないということも、よく知られていました。

また県として、「飲食店」「宿泊施設」「食料品小売店」以外の滋賀県内企業の社内食堂向け展開三方よし!!フードエコ推奨店募集の案内をブースを回り、紹介しチラシを配りました。

その他にはブース内にパソコン・大型モニターにて、「資源化情報サイト」の各ページをローリング表示し、誰にでも直ぐに検索できる《ごみゼロしが》のPR活動も行いました。また、「ごみゼロしが」のメルマガアドレス登録を6名の方にしていただきました。

この3日間の受託ブースへの来場者は、約500名でした。ありがとうございました。

参考 [全来場者数：H30:27,250名/H29 :34,270名/H28 :29,190名]

『 県受託ブースパネルの内容 』

- ・ 「3R」および「食品ロス削減」への取組と提案パネル …9枚(内昨年流用4枚)
- ・ 「3R認知確認」クイズパネル …1枚

【 展示風景 】



【 クイズ・パネル説明・質疑応答 】

